



木を切るデモンストレーション

(特非) まちなびや

環境保全型第一次産業を核にした 子ども向け「環境・キャリア授業」の 開発とパッケージ化による普及

一般助成

2年目

知識の提供・
普及啓発

環境キャリア
教室の参加者数 **391人**

「環境保全型第一次産業に
関する仕事」を取り上げた
コードモンデの発行

60,000部

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

現在小中学校では、環境保全型第一次産業の意義や仕事の実態について学習する機会や「キャリア教育」で第一次産業が取り上げられることが少ない。

活動内容

静岡市内の5小中学校で、環境認証林を経営しながら都市と山村の環境共生を進める林業家と「出張林業教室」を協働実施した。また、小学6年生に向けては、授業内容の一部をキャリア教育の要素を加えて実施した。子ども向け情報紙コードモンデでは、木材製品メーカーや野菜の溶液栽培の研究者を取り上げ、各回3万部を印刷、市内小中学校や関係機関・図書館等に無償配布した。



木くずに触る子どもたち

今後の課題

林業家の方々に協力いただける時期が限られてくるため、学校に対して周年対応が難しい。現場での姿や営業など、デモンストレーションでは伝えきれない林業家の仕事についての伝え方を検討していく必要がある。

成果と工夫した ポイント



成果

参加体験型の出張授業実施前は森林や林業に関する興味・関心や知識が低かったが、実施後は一気に高くなった。森林の役割の理解については約26%が約97%、林業の仕事への興味は約31%が約78%増加した。

工夫

専門家が小学校の学習内容に沿った出張授業を、ワークシート等も活用して実施した。